

はまだより

おかげさまで
40周年
パナソニック松愛会
横浜東・西支部

パナソニック松愛会
横浜東支部／横浜西支部



2022年7・8月号 No.143
ホームページ <https://www.shoai.ne.jp/yokohama/>

発行人 飯塚 久典
編集人 小野 喜一

年次大会はオンラインとのハイブリッドで開催



横浜東・西支部2022年度年次支部大会は、5月28日（土）、夏日になろうかという好天に恵まれた中、パナソニックの佐江戸事業所厚生棟において3年ぶりに開催しました。

コロナ禍のため懇親会なしの大会となりましたが、会場に50名、Zoomという会議システムを活用してのご自宅からのオンライン視聴に40名、合計90名の方に参加いただきました。議案ならびに新年度の支部役員が承認された後、4月にスタートした「パナソニックの新体制について」の講演も行われました。（P. 3に参加者名簿を掲載）

横浜東・西支部40周年の節目の年の活動が始まりました。引き続きのご支援をお願いします。

（担当副支部長 間島 輝利）



大会の映像はオンライン参加者（写真上）にZoomで配信

どうぞよろしく お願いします！

新しい 支部役員の皆さん

東支部・支部役員
植田 ひさみ



松下通信、PMC、PSN、CNSで人事・広報を担当し、特に社内報『デイリーニュース』の編集に携わりました。これからがんばります。

西支部・支部役員
松本 秀夫



海外部門でシステム商品の拡販を担当していました。当時お世話になった会員の皆さんのためにがんばります。

西支部・支部役員
瀬川 弘男



松下電器貿易、インダストリー営業・企画を海外中心に担当しました。微力ながら恩返しのできるようがんばります。

西支部・支部役員
小西 敏章



松下通信AVシステム、インフラシステムにて主に生産技術、部品検査を担当しました。これからがんばります。

西支部・支部役員
針谷 俊隆



松下通信AVシステム出身です。2年ぶりに支部役員に復帰しました。皆様とのお縁を大切にまたがんばります。

おつかれさまでした！ 大役を果たし、退任した支部役員の皆さん

（写真左から）東支部の清野 富男（支部役員6年）、西支部の小暮好康（同5年）、小松澤弘安（同5年）、小黒正男（同3年）、工藤茂喜（同2年）の皆さんです（敬称略）



支部設立40周年マークのご紹介



今年には松愛会の設立50周年、そして横浜東・西支部も設立40周年を迎える記念すべき節目の年となりました。

伝統を築いてこられた諸先輩のご努力に感謝するとともに、会員の皆様と憶いを共有し、再認識し、新たな気持ちで盛り上げる目的の共通のシンボルとして左の「おかげさまで40周年」ロゴマークを作成し、新たな気持ちで新年度の活動を推進してまいります。

ロゴマークは、『はまだより』本号の題字にも使用しているように、本年度情報発信する各種媒体及び行事の際に掲示し、会員の皆様とともに意義をかみしめ、より一層活動に興味を持っていただき、身近な存在として活動していくための一助としていきますので、さらなるご協力をお願いします。

(担当副支部長 片瀬 好文)

パナソニック松愛会 横浜東・西支部合同 2022年度 年次支部大会 参加会員 敬称略

あ行	小黒 正男	※塩見 治雄	※堂本 耕造	星野 正樹
※赤尾 良一	小野 喜一	※島崎 昭裕	富田 鉄人	ま行
※秋場 国夫	か行	清水 伝夫	な行	※前田 精亮
※阿久津 仁	柿田 安子	鈴木 陽輔	※中村 圭一	榎 一郎
浅野 徹	片瀬 好文	清野 富男	※中村 猛次	間島 輝利
飯田 直嗣	※加藤 幸一	瀬川 弘男	※中村 弘志	松本 秀夫
飯塚 久典	※神永 博信	※関 隆夫	奈良坂 優	※村上 芳
池田 健吉	※河合 八朗	関戸 孝康	※沼沢 新太郎	村松 克芳
伊東 祐貞	※河原井 昭彦	た行	野口 彰	や行
※井上 光一	草薙 幸一	高木 勝則	※野津 潔	※柳川 博
※井上 俊之	小暮 好康	高沼 浩	野々村 英一	山 香織
植田 ひさみ	後藤 喜行	※高橋 聖子	は行	横山 徹
内山 正義	※小西 唯夫	※高橋 久夫	芳賀 嘉之	わ行
※江頭 孝征	小西 敏章	※高橋 博子	※浜 道彦	※湧井 秀雄
遠藤 誓一	小林 貞幸	※高橋 洋介	浜田 博	和田 守政
※大口 孝	※駒井 秀雄	高見 広光	早川 守正	※渡邊 昭夫
※大河内 英夫	小松澤 弘安	※武田 清	針谷 俊隆	
太田 正治	小山 明房	※竹村 重雄	※東 輝夫	
大庭 博	さ行	田村 潤	※檜山 弘明	
※奥田 伸治	佐藤 真佐男	※寺山 信幸	※平田 三男	

※はZoomで参加を申し込まれた方々です。この他に松愛会本部と会社の出席者含め計90名が参加しました。

グランドシニア会員の皆様へ 友愛アンケートは8月末郵送予定です

例年、横浜東・西支部では、「グランドシニア会員」（翌年4月1日現在・77歳以上の方）への「友愛活動」として、交流の場である「グランドシニア懇談会」を開催しています。

その出欠確認と、欠席の方の自宅への支部役員による「友愛訪問」の可否および近況をうかがう目的で「友愛アンケート」をお届けしてきました。

しかし、昨年、一昨年はコロナ禍により懇談会は開催できず、「友愛訪問」も同じく中止になりました。今年はワクチン接種が進んできたようですが、まだ感染防止策については継続が必要です。今しばらく状況を見て判断いたしたく、「グランドシニア懇談会」開催（9/末予定）の可否については別途ご案内します。

なにとぞご理解のほどお願いします。

ただし、「友愛アンケート」は、こうした状況だからこそ、ご家族を含めて近況をうかがう必要があると考え、郵送させていただきますので、恐縮ですがご記入いただき、ご案内する返信方法で地区の支部役員までお送りいただきますようお願いいたします。（※アンケート発送は8月末の予定です）

(担当副支部長 清水 伝夫)

支部役員だよ!

思い出をたどれば「縁(えにし)」

横浜東支部
副支部長 間島 輝利

入社式かクイズ番組か

1971年4月1日の松下電器入社式はフジテレビ「クイズグランプリ」の収録日でしたが、人事に言えず枚方の体育館にいました。松下正治社長のスピーチは「この会場に集ったのは見えない『縁(えにし)』があるから…」それを聞き、入社自体も偶然だと妙に納得しました。志望はマスコミ、松下への応募は練習のために、入社するつもりはなかったからです。

4月の採用試験は徹マンで寝過ごし1時間遅れて会場に。すでに英語ヒアリング試験中で、採用の方に面接が先と言われました。夕方になり応接室でテープレコーダーを自分で操作、何度も巻き戻しながらテストを受け帰宅。遅刻もありダメだと思いましたが合格にびっくり。これも縁の力? 事情があり、結局、採用試験は松下だけでした。

その後、名古屋に配属、家電・住設・特機で24年間の営業、最後の10年は広報でした。

テレビに出るといふこと

配属翌年にMBSのクイズ番組に出演。2名勝ち抜き、月給が5～6万円の時代に賞金は4万円。会社には内緒でしたが、上司と岐阜の電気屋さん訪問時に「君はクイズ番組に出ているね」と言われバレました。ビデオ販促用の試し撮りが私の出た番組だったのです。これも縁?

1988年11月～89年2月には入浴剤「バブ」のCMに出て、毎日10本以上スポットCMが流れました。仕事中に妻から「お父さんCMに出る?」との電話があり、小太り(?)の親子を探しているとのこと。翌日、電通映像からスポンサー用のビデオ撮りの連絡があり、昼休みに芝公園でインタビュー。2日後に決定し渋谷のスタジオと新宿の路上で撮影。

出演したことは、一度だけ会った日産・購買係長に、CMに出ていますねと指摘されバレました。この方は後に社長になられます。偉くなる人は注意力が違うのでしょうか。実の姉でさえ気づくのは1カ月後だということに…。



箱根・大涌谷にて

60年以上のギャンブル人生

スタートは小学校低学年。大のギャンブル好きの父親と、お年玉を賭けての「オイチョコカブ」。麻雀は小学校5年生。隣家の市役所の土木課長が部下と打っていたのを見て隣家の兄弟と私の兄とで始めたのがきっかけ。競馬は21歳の時。義兄と行った中山競馬場が初体験。着いてすぐに買った初めてのゾロ目馬券が、ビギナーズラックの大当たりで100円が3500円に。それ以来50年以上外れ馬券を買っています。競馬は一生続きそうです。

知り合いのプロ雀士の方とご縁で参加した各界交流年末麻雀大会で、同じ卓になったのが先日亡くなられた宝田明さん。大会終了後に宝田さんが来られ、追加でプライベート麻雀を半荘2回。ハンサムでスタイルも良い宝田さんは、マナーもきれいで大変強く大負けしました。

初めての編集長

松下卒業9カ月前の2006年8月、日本在外企業協会に Outreach、『月刊グローバル経営』(右写真)の編集長に就任。雑誌編集には全く経験がなく60の手習いで編集を学びました。印象に残っているのは東日本大震災の時。当日は危険な思いもしながら会議室で夜明かし。混乱の続く中で無事4月号を発行することができました。

協会では7年弱編集長を務めりタイア、今も編集のお手伝いで頭の体操をしています。

その後、縁あって横浜東支部の支部役員になり現在に至っています。(※支部HPにも掲載)



ぶらり会

第504回 「四季の森公園から里山・ズーラシアの散策」

7月9日(土) JR横浜線 中山駅 改札前 午前10時集合

第505回 「緑豊かな夏の和泉川の散策」

7月28日(木) 相鉄線 三ツ境駅 改札前 午前10時集合

第506回 「鎌倉ぼんぼり祭りを楽しむ」

8月8日(月) JR横須賀線 鎌倉駅 東口改札前 午前10時集合

第507回 「三浦半島散策」

8月25日(木) 京浜急行線 三崎口駅 改札前 午前10時集合

変更等は
HP参照は



*雨天の場合は中止

*参加希望の方

当日、指定場所・時間までに集合

*参加費 200円

昼食、飲物、雨具等は各自で用意ください

(世話役) 村田秀夫さん 045-821-0465

※ご参加の際、マスク着用や3密回避等の
新型コロナ対策をお願いします。

3月25日～5月27日の報告分
敬称略・順不同
会員情報

入会
どうぞよろしく

菅野 晃、岩野賢二、下川行成、松岡由起夫、百瀬好文、米澤光之、島崎裕正、谷川達也、大施戸恒隆、土岐浩之、竹内一郎、(転入) 小西唯夫

長寿祝
これからもお元気で

(白寿) 齊藤隆三、(米寿) 白石武彦、渡辺謙夫、佐藤義雄、榎本 裕、(喜寿) 中島真人、小葉征男、新田昌孝、井上正人、原田雅之、嶋田武丞、飯田智也

金婚祝
お二人仲良くご健康で

岡田 明、川崎勝幸、渡辺龍彦、森川 孝、井上幸男、佐々木利明、三浦 裕、本田靖人、久保寺勝義、佐藤真佐男、荒木利雄、中嶋敏幸、大野浩一、杉田勝之、坂場正司、宮崎 博、桑山博史、石井和利、高野成人

訃報 (3/25-5/27報告分のご逝去)
心からお悔やみ申し上げます

3/27 栗林茂次さん(88歳)、4/6 平本清明さん(84歳)、4/16 徳田光則さん(91歳)、
5/10 朝倉 郁さん(90歳)、5/21 武藤 肇さん(77歳)、5/23 佐藤久典さん(95歳)



はまゆう 仲問たち 活躍する 濱友

捕物小説を発掘し復活させる 新しいビジネスモデルによる事業化

長瀬 博之さん(69歳) 横浜市泉区

江戸時代が舞台の推理小説の愛好家

「御用だっ！神妙にお縄を頂戴しろ！」と平次が叫ぶ。悪党は「なにをっ！たたっ切ってやる」と刃を向ける。子分の八五郎が「親分！危ねえ！」と声を上げた瞬間に、平次の投げ銭が空を切り、悪党が崩れ落ちて大団円。時代劇『銭形平次』での毎回決まりの一場面ですが、長瀬さんは「野村胡堂原作の『銭形平次捕物控』の作品は383話ありますが、実際に投げ銭が使われたのは20～30話でしょう」と裏話を語ります。長瀬さんは若い頃からの捕物小説の熱狂的ファン。捕物小説とは、江戸時代に犯罪捜査の現場で活躍した岡っ引きたちが事件を解決する推理小説で、登場する他のヒーローとしては「半七」(岡本綺堂)、「人形佐七」(横溝正史)などが有名です。戦前から読まれていましたが、最盛期の昭和20年代末には専門雑誌も増え、後に時代小説や推理小説の分野で有名になった作家の作品も見られます。「この100年余りに書かれた捕物小説の作品数は1万点を超すと思います」と長瀬さん。

「私と同じように、かつて愛読した作品を読んでみたい人はいるのではないか」。そう考えた長瀬さんは、どこで読むことができるかを調べました。多くの作品は既に絶版になっており、古書店では目が飛び出るほどの高値で売られています。国立国会図書館の蔵書リストに出てはいても、そこまで足を運ばねばならず、オンラインによる閲読も、それができる人ばかりではありません。「そこで自分で新たに出版してやろう。きっと喜んでくれる人々がいるぞと決めたのです。しかし、業界団体に相談すると、真っ先に言われたのは『出すのはご自由ですが、売れませんよ』でした。しかも年金暮らしでは、リスクが高い従来型の出版社の起業は難しい。そこで思いついたのが『プリント・オン・デマンド(POD)』という米国発の出版方法の活用でした」。

オン・デマンド出版というビジネスモデル

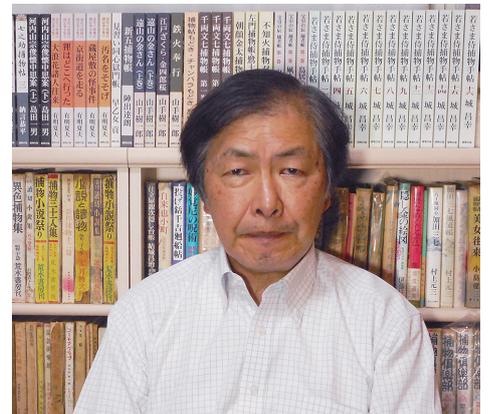
PODとは注文に応じて1冊単位でも印刷・製本できる方式で、原稿はPDFで作成します。受注生産なので在庫も返本もないため、資金も少なくて済みます。また絶版になることもありません。2018年創業の長瀬さんの出版社は、社名もズバリ「捕物出版」。これまで出版した作品は100冊に及びます。今も毎月3冊発行しています。当面の目標は300冊達成。「昔の作品なので、著作権の対応はかなり手間がかかります。著者の大半は故人で、ご遺族の了解を得なければなりません。さらに読者層は高齢者が多いので、読みやすいように文字サイズは大きくして10.5～11ポイントを使います」と細かい気配りも忘れません。

人生のキーワードは「発掘」だった

PODという新しいビジネスモデルを導入した長瀬さんは、現役時代に当時のラジオ事業部で活躍したエンジニア。松下通信に異動後は電子マネーのリーダー&ライター開発の「顔」として65歳まで活躍を続けました。その後の人生のキーワードは「発掘」であったと述懐します。実は長瀬さんにはさらに別の世界があります。それは「化石」の採集と、「オリエント考古学」です。後者はエジプトやヨーロッパ各地に残る「オベリスク」の研究です。オベリスクとは古代神殿に建てられた記念碑の柱。既に5～6回、現地調査に行きました。「思えば、捕物小説の復刊も過去に埋もれた大衆文化を改めて発掘する試みですから、考古学と共通するものがあると思います。またそれは社会貢献にもつながると信じています。捕物出版は儲かる事業ではないですが、誰かに喜んでもらえれば社会貢献できるはずです」と熱く語ってくれました。(レポーター・広報委員 小野 喜一)



集めた捕物小説の古書を披露する長瀬さん



書斎の書棚にはお気に入りの作品群が並ぶ

捕物出版 単行本のご紹介

捕物小説専門の出版社
捕物出版の単行本は読みやすい11ポイントの大型文字、文芸誌サイズのA5判ソフトカバーです。Amazon、楽天ブックス、全国の三省堂書店、丸善・ジュンク堂書店でご注文いただけます。

横溝正史、「佐七」以外の名作捕物帳発掘シリーズ

横溝正史 朝霧金大捕物帳	横溝正史 左門捕物帳	横溝正史 不知火捕物帳	横溝正史 五右衛門捕物帳
-----------------	---------------	----------------	-----------------

五右衛門捕物帳の一つ、人形佐七捕物帳の著者の横溝正史氏は、「佐七」以外にも多くの捕物小説を残しています。太平洋戦争末期の昭和19年より14編が執筆された「朝霧金大捕物帳」、これまで単行本が出ていなかった「五右衛門捕物帳」(第十部捕物帳)、横溝正史初の連作捕物小説の「不知火捕物帳」2編、初出誌の挿絵入りで完全収録し、初の集成版を刊行いたしました。

城 昌幸、「若さま侍捕物手帖」、続々刊行中

昭和14年より30年間にわたり執筆され、野村胡堂『銭形平次』などならぶ五大捕物帳の一つとされている城昌幸「若さま侍捕物手帖」。長瀬博之、中瀬15、短編29編という膨大な作品群のためか、これまで全作品を網羅した全集は発行されていませんでした。現在存在が確認できている278編を、執筆年代順に整理する初の事実上の全集化、毎月1冊ずつ刊行中。

高木彬光、「千両文七捕物帳」全3巻

「日本三大探偵」の一人、神津喜介の作者、高木彬光の捕物小説の代表作、千両文七捕物帳。従来の単行本、文庫本への未収録作品17編を含む、総計35編を収録した千両文七捕物帳の決定版、執筆年代順に収録した事実上の全集。(全3巻)第3巻には千両文七も登場する「私伝天保六歌選」の4話も収録。

捕物出版の出版物のリストには
後年、有名になった作家の名も見られる

編集部から お知らせ



次号より『はまだより』の編集長が、今月号までの小野喜一支部役員(左)から、後藤喜行支部役員(右)に交替します。今後とも引き続きご愛読をお願いします。

